

～精神医療センター薬剤部の皆さんに話を伺いました～

どのように使うのですか。

処方オーダの受付によりロボットが薬品のカセットを取り出し、秤量から分包まで実施してくれるので、薬剤師は最終鑑査を行うだけで、調剤を完了することができます。

ただし、専用カセットに充填できる粉薬は30種類なので、カセットにない粉薬や錠剤を粉砕する場合は、従来どおり薬剤師による手作業になります。ロボットに任せることと、薬剤師が行う作業の流れとを考えて業務が円滑に進むように工夫しています。

導入のメリットを教えてください。

人の作業で起こりうる薬品の取り間違いや秤量間違いをなくすることができます。また、調剤にかかる時間が減り、処方内容の確認（用法用量や相互作用、前回処方との差異等）にかける時間を増やすことができるので、安全な薬物療法の実施につながります。

困ったことなどはありますか。

ロボットの調整は私たちではできないため、トラブルが発生した時だけでなく新しい粉薬を採用する場合はメーカーの技術者に来院してもらわなくてはなりません。ただ、その間は薬剤師が従来の方法で調剤できますので患者様への影響はありません。メンテナンス管理に少々、不便さを感じますが大切に使用していきたいと思っています。



【編集後記】

ロボットというと「ポケットから道具を出して夢を叶えてくれるネコ型」をイメージしてしまったので、今回の取材でロボットのイメージが変わりました。ロボットを活用することによって人でないといけない業務に集中できるので、働き方改革につながると思いました。

お知り合いの助産師さん、看護師さんにぜひお知らせください！

～助産師1名、看護師56名 追加募集中！～

【受付期間】

令和4年5月24日（火）～6月27日（月）

【考査日】令和4年7月9日（土）、13日（水）

【採用予定人数】

助産師1名程度

看護職員56名程度

（A51人程度、B5人程度）

A・・・県内全域で勤務

B・・・主に上越市、妙高市の

県立病院（中央病院、妙高病院
柿崎病院）のいずれかに専ら勤務



▲詳しくはこちら
をご覧ください

【就職をお考えの方に看護職オンライン個別相談会を実施しています】

就職をお考えの方を対象に、県立病院で働く看護師が、転勤・教育体制・福利厚生・職場の雰囲気・子育てなど、相談に応じます。

1年を通じていつでも受け付けておりますので、気になる方はお気軽にご利用ください。



▲詳しくはこちら
をご覧ください

お問い合わせ先：病院局総務課人材確保育成班（Tel025-280-5561）